

市政の動き

9月定例会報告 市長総括説明から

8月30日、令和6年第3回豊岡市議会定例会が開会しました。

回数は1回、接種場所は原則市内の協力医療機関で、接種費用の自己負担は3400円としています。今回からは、法律上の接種義務はないため、接種を希望する場合は、ご自身で協力医療機関に予約をしていただくこととなります。

ついては「豊岡市福祉医療費の助成に関する規則」および「こども医療費の助成に関する規則」の二つの規則で運用しています。

特に、子どもに対する医療費助成については、金銭信託の運用利息を財源とした時限的な制度設計であつたため、事業の継続性が明

た時限的な制度設計であつたため、事業の継続性が明確ではありませんでした。市の政策意思を明らかにし、より安定した制度とするため、条例化を進めたいと考えています。

人と自然が共生するまち

なお 市長総括説明の全文は、市ホームページをご覧ください。



解を広げてきました。
市民一人一人が手話は言語であることを認識し、聴覚障害への理解促進と手話言語の一層の普及啓発に取

■ 安全に安心して暮らせるまち 新型コロナウイルスワクチンの定期接種

今年度から季節性インフルエンザと同じ扱いのB種

卷之三

三

疾病の定期接種となり、65歳以上の高齢者と、一定の基礎疾患有する60歳から64歳までの方が対象です。接種時期は、10月1日から来年2月28日までの期間

「重度障害者医療費助成事業」「乳幼児等医療費助成事業」「高齢重度障害者医療費助成事業」「こども医療費助成事業」などの6事業に

また、同公園駐車場のトヨタリニュー・アル等を行うこととします。

昨年度には、市民の方々による取組みが実を結び、県道豊岡竹野線の桃島バイパスが事業化されました。桃島バイパスの完成を見据えた将来の城崎温泉のあ

■城崎温泉交通環境改善事業
城崎温泉街では「安全・安心なそぞろ歩きができる「城崎温泉」を実現し、地域の魅力とその価値を高めるため「城崎温泉交通環境改善協議会」を設立し、さまざまな取組みを進めてこられました。

比で15.8%増加しました。
9月末頃には、10万人に到達する見込みとなり、記念イベントが企画されています。

■持続可能な「力」を高めるまち
■山陰海岸ユネスコ世界ジオパークの再認定審査
2022年に実施された審査で、2年間の「条件付き再認定」となったことを

■ こども広場の利用状況

■ 小中学校適正規模・適正配置計画の進捗状況

昨年度には、市民の方々による取組みが実を結び、県道豊岡竹野線の桃島バイパスが事業化されました。桃島バイパスの完成を見据えた将来の城崎温泉のあ

■城崎温泉交通環境改善事業
城崎温泉街では「安全・安心なそぞろ歩きができる「城崎温泉」を実現し、地域の魅力とその価値を高めるため「城崎温泉交通環境改善協議会」を設立し、さまざまな取組みを進めてこられました。

比で15.8%増加しました。
9月末頃には、10万人に到達する見込みとなり、記念イベントが企画されています。

り方について、温泉街での社会実験の実施を視野に入れながら、地元の皆さんや関係機関との検討に必要な現在の交通状況を調査したと考えています。

小坂小学校との統合を進め
るべきとする合意書が提出
されました。これを受け、
統合準備委員会を開催し、
2026年4月の統合に向
け、通学方法等、具体的な
協議を進めています。

予定の竹野中学校を除く全中学校体育館に空調を整備しました。

生徒、教職員をはじめ利用者からは「涼しく快適になつた」との声が届いています。

今後は、体育館の使用状況等のデータを分析し、効果を検証していきます。

■児童生徒への

クマ鈴の配付

各地区の代表等と今後の進め方についての協議・調整を進めていきます。

クマの痕跡・目撃情報が著しく増加しています。クマ対策として特に大切なことは「クマとの遭遇を避けること」であると言われています。とりわけ、クマ鈴を使用することが、クマとの鉢合わせを未然に防止することに一定の効果があるとされています。そのため、クマ鈴を希望する小中学校の児童生徒に配付でいることとしました。

る可能性を排除することなく、検討を進めていきます

■長期財政見通し

■日本・モンゴル民族博物

館の今後の利活用方針
但東地域は人口減少と高齢化が急速に進んでおり、地域を持续していくための対策を、早急に講じていく必要があります。

但東地域の住民の意向やニーズを把握とともに

昨年8月に策定した前回の見通しと比較して、歳入では、市税は減収となつたものの、普通交付税と臨時財政対策債の合計額は増収となりました。

市政の運営

地域づくりの推進にあたって、同施設を活用することの可能性を検討するため、但東地域の全世帯を対象とするアンケート調査および住民等を参加者とするワーケシヨップを実施したいと考えています。

■旧静修小学校の貸付
昨年3月末で閉校した旧静修小学校については、1月から4月まで公募型プロポーザルにより利活用事業者を募集していたところ、1者から貸付契約の希望がありました。5月に審査を行った結果、契約候補者とすることに決定しました。

■中学校体育館への

避難所と
空調整備

災害時における避難所としての良好な生活環境の確

保と、平時における生徒の教育活動での熱中症リスクを低減するため、今後改修

■新文化会館整備事業

人生を楽しみお互いを
支え合つ

開館に向けた具体的な事

■ 旧静修小学校の貸付

月から4月まで公募形式で
ポーザルにより利活用事業
者を募集していたところ、
1者から貸付契約の希望が
ありました。5月に審査を
行つた結果、契約候補者と
することに決定しました。

人口減少時代においても持続可能な行財政運営を進めることのため、既存施策の見直しも含め抜本的な検討を進めていきます。

考
え
て
い
ま
す。

■**市政の運営**

■**旧静修小学校の貸付**

昨年3月末で閉校した旧静修小学校については、1月から4月まで公募型プロ

字には基金を取り崩して充てることとしています。基金残高が大きく減少していくことは前回の見通しと変わらず、依然として厳しい財政状況を示すものとなつ

※市ホームページに「市長総括説明」の全文を掲載しています。